

事業所名 キッズランドまめの木 玉造校

公表日 令和8年 2月 21日

放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	現在の人数であればいい 個々のペースに合わせたスペースを確保し、1人1人が安心して過ごせるよう工夫している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	20%	20%	利用者数に対して職員の配置数は多いと思う。その点を保護者の方も安心した利用に繋がっていると話していた。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	60%	20%	20%	スロープの段差につまずくことがある 段差がいくつかあり、バリアフリーはなされていないが、現在の玉造校では必要ないと感じている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか PDCA...P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)	100%	0%	0%	反省点も含め、今後につながることは周知し、気付きをもって業務に取り組みしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	0%	20%		
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	自己評価結果を公開しているが、活用の方法はあまり周知していない。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(まめの木では、第三者評価は行っていない)	20%	80%	0%		
	8	職員の資質の向上のために、研修や勉強会の機会を設けているか	100%	0%	0%	研修内容をあらかじめ伝えておきその分野に詳しい人に助言を求めても良いと思う。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しているか	80%	0%	20%		
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(知能検査・発達検査)を使用しているか	0%	80%	20%	保護者を通じて学校や病院からの検査結果を使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	活動内容については個々の得意とする分野を取り入れている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	それぞれ得意分野を取り入れるために、固定化しないように取り組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	0%	20%	その日によって細かさが違う。	
	14	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	朝と昼のミーティング 業務の周知方法を改め、職員全員に周知するよう努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	0%	20%	翌日のこともある 振り返りの時間をうまく作れていないので、改善を必要とすることもある。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	0%	20%		
	19	ガイドラインに沿って自立訓練・機能訓練・創作活動・余暇の提供などを組み合わせて支援を行っているか	80%	0%	20%		
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	0%	20%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	個々の状態に合わせ、学校との連携が必要な場合は、話し合いの場を設けている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	20%	20%	現在はいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%		

との連携関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80%	0%	20%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	20%	20%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	60%	20%	公園遊びを通じて交流	交流の機会がない、設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	20%	40%	40%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	保護者の方からは、連絡が細やかで情報共有しやすい点を評価した言葉を頂いた。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	80%	20%	0%	必要とするならば、きちんと実施すべきだと思う。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%	0%	その都度話をきちんと伺い、対応できている。	
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80%	20%	0%		保護者同士の連携を取る機会がないので、設けた方がよいと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%	0%	情報の周知は早い。対応も統一させるためにその都度話し合っている。	
	34	定期的なまめの木通信などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	まめの木通信を毎月発行している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	絶対に個人情報を漏らさぬよう、共通理解している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	40%	60%	0%	地域の連携は低い。改善したほうがよいと感じる。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0%	職員間では周知しているが、保護者への周知には欠けている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%	0%	火災は実施しているが、他を想定した内容は実施していない。(約半年内)	実施していきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を行う等、適切な対応をしているか	80%	0%	20%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス個別支援計画に記載しているか	80%	0%	20%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意向や医師の指示書に基づき対応がされているか	100%	0%	0%	情報共有できている。	
	43	ヒヤリハット報告書を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%		